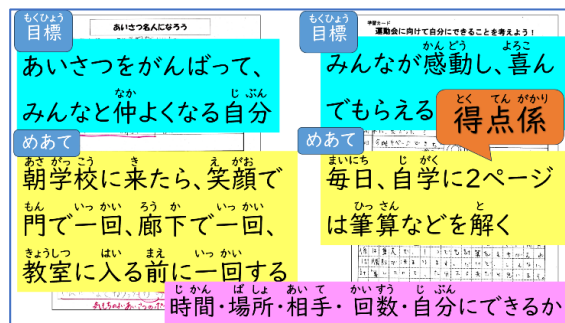




## 夢をもつ大切さ

今日の終業式では、子供たちに夢を持つ大切さについて話をしました。夢をもつと①生きるためのエネルギーになる ②問題を解決しようとする力が付く ③困難や逆境への抵抗力が付く ④自分自身を成長させてくれる！というよさがあります。夢というのは目標やめあての連続した先にあるのです。一足飛びに夢の実現というのはなく、目の前の目標・めあてを達成しながら夢に近づいていきます。子供たちには大海原の先にある島を夢実現の場所とスライドで示し、手漕ぎの船に乗ってそこを目指していくのが人生であると説明しました。航海途中にある灯台の灯りに導かれながら島を目指していきます。この灯台の灯りが実は、目標・めあてであり、それを解決しながら、夢へと到達していきます。そして目標とめあての関係についてもスライドで示しました。目標は「こんな自分になりたい」、めあては「その実現のための具体的な行動」ということです。その具体例として、2年生の子供が学級活動の時間に「あいさつ」について学習したときのワークシートを紹介しました。目標が、「あいさつをがんばって、みんなと仲よくなる自分」で、めあてが「朝学校に来たら、笑顔で門で一回、廊下で一回、教室に入る前に一回する」でした。このように具体的な行動目標にすることで、あいさつに関する自分の目の前の課題が解決できます。この小さな実践の積み重ねが、夢実現へと近づいていきます。年末・年始はめあてを立てて行動できるチャンスがたくさんあります。子供たちには是非冬休みのめあてを立てて、それに向かってチャレンジし、帯西レッドの心を伸ばしてほしいと思います。



## 活躍おめでとう！

終業式では、子供たちへの表彰式も行いました。まず、人権啓発作品では「短いメッセージの部」で入選した6年生の小平 健士郎さんとポスターの部で入選した3年生の白橋 小夏さんを表彰しました。次に、「わくわく通信147号」で紹介した熊本市わくわく楽しい給食作品の図画の部で特選を受賞した5年生の古閑 幸敏さんと作文の部で入選した5年生の平井 美羽さん、同じく作文の部で入選した2年生の伊藤 結羽さんを表彰しました。皆さんの頑張りや活躍を感じることができて本当にうれしいです。おめでとうございます！

## 2学期お世話になりました

2学期も今日で終業となります。2学期もインフルエンザやコロナで学級閉鎖等ありましたが、音楽会や修学旅行、宿泊教室、授業参観、懇談会と学校行事を予定通りに実施することができ本当によかったと感じています。

この冬休み中も健康に気を配り、楽しい年末、年始をお迎えください。保護者・地域の方々におかれましては、2学期も本校の取組にご理解とご協力いただき、本当に感謝しています。3学期も「わくわく」する学校づくりに尽力します。

